

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車
仕様書
(酒々井消防署)

※ 消防専用電話装置・車両動態位置管理装置

(取付け別契約)

令和6年度

佐倉市八街市酒々井町消防組合

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 仕様書

第1 総則

1 目的

この仕様書は、佐倉市八街市酒々井町消防組合（以下「消防組合」という。）が令和6年度に購入する水槽付消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作に関する一切に適用する。

2 準用

ここで定める仕様のほかは、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）その他の関係法令に適合し緊急自動車としての承認が得られるものであること。日本消防検定協会及び千葉陸運支局の検査に合格し、新規登録手続きを完了したものを納入し、積載品及び附属品にあっても国及び消防庁で定める技術上の基準に適合したものとす。

3 仕様の変更

受注者は、契約後製作にあたりこの仕様書に疑問が生じた場合は、消防組合担当員に連絡の上承認または指示を受け、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、消防組合担当員と打合せの上、変更承認函を提出し、承認を得ること。

4 仕様の確認

受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点については、消防組合担当員に質問し十分に熟知した上で契約すること。

受注者は、契約後仕様書詳細について消防組合担当員と打合せを行い、製作承認函等を消防組合に提出し、承認を得て製作に着手すること。

5 消防車両の安全基準

(1) 車両は、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、製造工場については品質管理システムISO9001認証取得を構築していること。

(2) 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

6 提出書類及び検査

(1) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。

ア 艀装中間検査（消防組合が適当と判断する時期）

イ 完成検査（消防組合が適当と判断する時期）

(2) 納期は、次の通りとする。

ア 納 期 令和7年3月14日

イ 納入場所 新規検査および新規登録を受け、当消防組合指定の納入場所において当消防組合職員及び受注者の立会いのもとに実施し、検査の合格を確認した後に引渡しを行うこと。

(3) 製作に先立ち、次のものを各3部提出し、消防組合の承認を受けること。

- ア 設計図（5面図）20分の1
- イ 工程表
- ウ 取付け品の取付け要領図 電気配線図
- エ その他消防組合で指示するもの

(4) 受注者は、納入時に次の書類を提出すること。

- ア 完成図（5面図） 3部
- イ 写真（前後左右上部） 3部
- ウ 車両取扱い説明書 2部
- エ 定期点検記録簿 2部
- オ 積載品及び附属品の取扱い説明書 各1部
- カ 自動車検査証の写し 2部
- キ 納品書（内訳書含む） 2部
- ク ポンプ性能試験成績表
- ケ 受託試験合格及び安全基準適合プレート写し
- コ 工程写真
製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）
- サ 車両、各装備品のトラブル時に対する連絡先 1部
（住所、会社名、部課係、電話番号）
- シ その他消防組合で指示するもの

ス 車両完成時には、「消防用車両の安全基準について」を満足しているかの検証の為、中間検査時及び、工場出荷前に以下の検査を受注者の工場で行うものとし、検査時の写真及び転覆角度実測証明書を納入時に提出すること。

- (ア) 完成車重量測定検査
- (イ) 完成車転覆角度検査
- (ウ) 完成車悪路走行検査
- (エ) 完成車登坂走行検査

第2 シャシ諸元及び性能

1 シャシ諸元

- (1) 消防車専用シャシ(ダブルキャブオーバー型5.5トン級)
- (2) 型式 : 令和6年式
- (3) 全長 : 7,600mm以下
- (4) 全幅 : 2,400mm以下
- (5) 全高 : 3,000mm以下
- (6) ホイルベース : 3,800mm以内
- (7) アルミホイール付きオールシーズンタイヤ（スペアタイヤ含む）

- (8) トランスミッション マニュアル 4輪駆動
- (9) 乗員人員 : 6名
- (10) 燃料タンク : 100L以上
- (11) 車両総重量 : 11,990kg未満
- (12) エアコン吹き出し口延長

2 水ポンプ装置

- (1) 主ポンプは環境性と操作性を考慮し、低燃費かつ遠距離送水が可能な、低回転・高出力のインデューサー付1段ポリウート型または高圧2段バランスタービンポンプとすること。なお、ポンプ性能は、A-2級とすること。
- (2) ポンプ材質は車体全体の軽量化を考慮し、アルミ製とすること。ただし、砂利等の混入にも対応できるような強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅铸件製(BC製)とすること。
- (3) グランド部は、グリスレスのメカニカルシールとし、軸先端部もグリスレスのこと。
- (4) 水ポンプは、シャシエンジンのフルパワーP.T.O(パワーテイクオフ)により駆動され、P.T.Oの操作は運転席とポンプ操作装置に設けられたスイッチにより行うものとする。
- (5) ポンプの架装は、つとめてエンジンに近くかつ、点検、整備に便利なように取付け、上部はできるだけ大きく開放できる構造とすること。
- (6) 主ポンプ及び附属装置を支える補助機は、シャシ、フレームに堅固に取付け振動等でゆるみを生じないようにすること。
- (7) ポンプドレンコックは、30秒以内に残水を完全に排出できるもので開閉は、ポンプスイッチに連動とすること。
- (8) 凍結防止のためポンプ内に不凍液を注入する口を設けること。

3 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは、消火泡圧縮吐出装置のコンプレッサーを利用したエゼクター式とする。操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。
- (2) 性能は附属吸管にて30秒以内に水銀柱-0.09MPa以上とする。
- (3) ポンプの操作は、車体両側にて行い電磁クラッチ方式とする。
- (4) ポンプは、無給油式または循環式とすること。
- (5) 揚水の完了を示すランプを計器盤に取付ける。また、非常用の別系統スイッチを車両右側に設けるものとする。
- (6) 自動揚水装置付とすること。
なお揚水完了検知後も長押しすることで追い真空することができる機能を有すること。
- (7) 夜間でも視認しやすいようスイッチはφ20以上のLED照光スイッチとすること。
- (8) 空気ポンベを利用した非常時用真空発生機構を設けること。

4 安全機能装置付ポンプ操作装置

- (1) 圧力計・連成計（リタード式）は、振動等でも針振れがない構造とすること。
- (2) ポンプスロットルは、電子（エンコーダ）式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによって、エンジン回転速度を上げ下げできるものとすること。
- (3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設けること。
- (4) 多目的表示液晶ディスプレイは操作盤に設け、詳細は以下の通りとすること。

ア 取扱い表示（機器取扱い・点検整備・故障対策等が可能なこと。）

イ モニタ表示（警告モニタとして冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニタ表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計、積算流量計を各々デジタル数値により表示できるモニタ表示ができること。）

ウ 流水表示（各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）

- (5) 液晶パネルは、視認性を考慮し、7.0（インチ）型以上の高輝度TFTワイド液晶で自動調光機能を装備し、高コントラスト比の低反射型硬質パネルとすること。また、液晶ディスプレイに一体となった液晶パネル操作用のパネルスイッチを設けること。
- (6) 真空ポンプ操作は、非常時に手動操作にて行えるものとすること。
- (7) 操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設けること

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとすること。

イ 自動調圧機能

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧まで圧力を上昇させ、設定圧以上になった場合は設定圧まで圧力を下げる自動調圧装置をポンプ操作装置内に設ける。画面に表示された0.4～1.0Mpaまでの7段階の設定ボタンを選択する事で自動的に圧力制御を行える構造とすること。また、前述以外の低圧・高圧での制御に対応する為、任意の圧力でも自動調圧機能が働く構造とすること。

なお、スムーズに手動の放水操作に切替えができる様に手動のスロットルダイヤルを操作する事で自動調圧が解除される構造とし、自動調圧作動中においては手動のスロットルハンドルは勝手に動かない構造とすること。

ウ スロットルインターロック

P. T. Oがつながっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ないスロットルインターロック機能を設け、スロットルの開度表示もP. T. Oが入っている時のみ変化すること。

エ 流量計色分け表示

操作盤表示の流量計については、車体の左右に関わらず、両側面の放水口の流量が

確認できること。また流量の表示は放水操作時の目安となるように、流量によって表示色が変化すること。

オ 緊急減圧機能

左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドリングまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

カ 高圧中継警報

自動調圧中に中継圧が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点灯すること。

キ 低圧中継警報（水量不足表示）

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点灯すること。

ク 不調診断チャート機能

不具合が発生した場合に、原因の特定を容易にするため、エラー表示を液晶ディスプレイ内で確認できること。

ケ タンク水放水可能表示

タンク水使用時、使用中の流量に応じて、放水可能かの表示が出来ること。

コ 不調監視機能

I o T通信端末を用い、発生した不具合を受注者側に自動発信し、円滑な原因特定及び初動対応を可能にすること。

サ DPR 警告機能

放水活動時に不意なエンジン停止を防ぐため、左右ポンプ操作液晶モニタに、DPR 堆積量表示を設け、一定の堆積量に達した際には警告表示する機能の有すること。

シ エンジン冷却水温表示

適正なサブラジータへの冷却水流水を判断するために、エンジン冷却水温表示を左右ポンプ操作液晶モニタに設けること。

ス 自動修正時計

自動補正機能付きのデジタル時計(年月日付表示)を設けること。

セ 燃料残量表示

放水活動時に不意な燃料不足によるエンジン停止を防ぐため、左右ポンプ操作液晶モニタに、燃料残量ゲージを設けること。

(8) 吸水口

吸水口は、消防呼称75mmボールコック（ストレーナー付）とし、車体両側に各1個設け、75mm×10mの吸管をスーパースイングエルボにて常時接続する構造とすること。（連続呼水装置付）

(9) 放水口

放水口は、消防呼称65mmボールコックとし、車体両側に各2個設けること。

(10) 中継吸水

中継吸口は、消防呼称65mmボールコックとし、車体両側に各1個けること。

(11) 冷却水装置

冷却水装置はバルブ、通水確認窓、ストレーナーで構成され、運転中通水を停止することなく容易にストレーナーの清掃ができるよう2系統設けること。

また、冷却水の通水状態を表示灯で確認ができ、冷却水は還流できること。

(12) 主ポンプ及び配管ドレン

主ポンプ及び全ての配管には、有効に排水できるように必要数ドレンバルブを設けること。

また、主ポンプドレンバルブは、主ポンプ駆動スイッチ(レバー)と連動して開閉するものとする。

5 水槽

(1) 水槽は、ポンプ室後部に設け、容量1,500L入りPP樹脂製水槽(防波板付)とすること。

(2) 水槽左右側面付近に水量計を取付けること。

(3) 水槽左右側面に他よりの補給口(積水口・ボールコック・キャップ付)を各1個、下部にドレン、上部にオーバーフロー(100A×2)およびマンホール、オーバーフロードームおよびマンホールを設けること。

(4) 水槽への水の補給条件(送水圧力)が表示されていること。

(5) 水槽とポンプの給水側との間に75mmボールコックを設け、可撓管継手を介して配管する。さらに、ポンプの吐水側から水槽へ送水出来る構造とすること。

(6) 水槽への送水圧は0.35Mpa以上確保すること。

(7) 水道ホースにて、タンク吸水が出来るように、コック付媒介を設けること。

(8) 左右液晶パネル内に電子水位計を表示すること。

6 圧縮空気泡消火装置

装置は、(一財)日本消防設備安全センターの性能評定に合格しているものとし、水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火が出来るものとする。また、気水比が5~10倍の消火・火炎鎮圧用湿器式泡(ウエット泡)と気水比が1.6~2.0倍の延焼防止・残火処理用乾式泡(ドライ泡)の2種類の泡について、泡管鎗を用いることなく吐出可能なものとする。

(1) 表示

安定した泡の吐出のために、圧縮空気泡消火装置の技術基準に準拠し、本装置の操作に必要な表示装置として、次に掲げるものを操作時に容易に確認できるものとする。

ア 吐出圧力

イ 泡吐出量

- ウ 泡原液混合比
- エ 空水比
- オ コンプレッサーの運転表示
- カ 混合比
- キ 使用水量
- ク コンプレッサー油温

(2) 性能

最大水流量900L/min以上、最大空気吐出量4,500L/min以上とし、最大泡吐出量5,400L/min以上とする。なお、泡の吐出量を確認するための泡流量計を左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に設け、確認が行えるようにすること。また、泡吐出圧力は、0.3MPa～1.0MPaまで無段階調整ができるものとし、吐出泡流量はスロットル操作に応じて任意に調整できるものとする。

(3) 構造

ア 本装置の操作については、車体左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内で泡放射に関する全ての操作が可能なこととし、タッチパネル式にて操作が出来ることとする。なお、左右両側の操作盤で同様の操作ができる構造とする。

イ 湿式泡と乾式泡の切替え操作及び泡原液の混合比の変更は、ポンプ操作盤液晶ディスプレイ内にてワンタッチで行えるものとする。なお、泡質の切替え及び発泡倍率の変更操作は放水中でも可能なこと。

ウ 泡放射ならびに混合液の放射については自然水利、消火栓、中継水利、自車水槽のいずれの水利においても支障無く放射が出来る構造とすること。

エ 消火泡圧縮吐出装置の動力については水ポンプと兼用とし、水・泡の放射切替えの際も動力の操作を不要な構造とすること。

オ 泡放射時の放水状況(泡流量、混合比率等)を左右ポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に表示出来る構造とする事。

カ 消火泡圧縮吐出装置運転時における適正な回転数にスロットルを上げた後においては、スロットルを上げようとしても規定回転以上には回転が上がらないよう過回転防止装置を設けること。

(4) コンプレッサー

ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とする。なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されるものとする。

イ コンプレッサーはメンテナンスを考慮し、国産製品とする。

ウ コンプレッサーはスペースの有効利用のため真空形成装置兼用とする。

エ コンプレッサーの油温上昇を警告するブザー等を設けること。

オ コンプレッサーの冷却に使用した水は水槽へ還流するものとする。また、切替えにより、車外にも排出できる構造とすること。

カ コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発すること。

(5) 混合装置

圧縮空気流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に泡原液量を調整して混合比を設定する電子式比例混合式とする。混合比は液晶ディスプレイ内でワンタッチにて変更可能なこと。なお、混合比の変更は放水中でも可能なこと。

(6) 泡原液（クラスA）は、環境に優しい環境保全型消火剤「マルチA」とし、ポンプ室内に交換容易なポリタンク（20L）式の原液容器を設置する。

消火作業中の泡原液の補給を容易に行なえるよう、固定型の原液槽は設けないこと。

また、吸液コックの操作で外部吸液と切替えることができること。

(7) 本装置での泡消火作業は、ポンプ室左右前側の水ポンプ吐水口を使用し、コック操作により、容易に泡放射と水放水の切替えが可能な配管構造とする。なお、隊員の現場で操作性及び誤操作防止のためにも、消火泡吐出口を専用で設けないこと。

(8) 消火泡圧縮吐出装置（コンプレッサー、混合装置等）は全てポンプ室内に収納し、速消ボックスや後部シャッターボックス等各ボックス内のスペースを減少させることなく、ホースや資機材を積載できること。

(9) 中継送水を考慮し、水と泡原液のみを混合し、混合液のみの放射も可能な構造とすること。なお、操作はポンプ操作盤液晶ディスプレイ内にて行える構造とすること。操作は、左右ポンプ操作盤液晶ディスプレイ内で可能なこととし、泡原液濃度の設定は0.3～1.0%の8段階の設定可能な構造とする。放射は、左右の水泡兼用吐水口より可能な構造とする。

(10) 消火活動中、車載の泡薬剤容器の泡薬剤が少なくなった場合において予備の薬剤容器より薬剤を吸液し、泡放射に必要な量を圧縮空気泡混合装置に供給できること。

(11) 圧縮空気泡消火装置の操作は容易に可能なものとし、あらかじめ混合比及び発泡倍率を設定でき、圧縮空気泡消火装置作動ボタンと吐水コックの開のみで、泡放射が可能なこと。

(12) スラッグフロー現象の防止の為、安全機能として、消火薬剤が無くなった際、自動で水のみ放射に切替わる構造とすること。

(13) 泡吐出圧力は、0.3MPa～1.0MPa、ポンプ0.3MPa～1.5MPaまで無段階調整ができるものとし、吐出泡流量はスロットル操作に応じて任意に調整できること。

(14) 圧縮空気泡消火装置の操作時、泡流量に加え、使用水量をポンプ操作液晶パネル内に表示可能なこと。

(15) 圧縮空気泡消火装置の放水圧がホースの耐圧以上になると、警報を発してエンジン回転を制御すること。

(16) コンプレッサーの油温計を液晶パネル内に設けること。

(17) 圧縮空気泡消火装置と水放射を同時に行えること。

(18) 誤操作防止のため、圧縮空気泡消火装置の作動ボタンは、圧縮空気泡消火装置の切

替えコックが完全に閉まった後に表示されるようにすること。

- (19) 圧縮空気を注入しない混合液放射の切替えが可能な機能を有すること。なお、混合比はクラスA消火薬剤の混合を想定した0.3～1.0%、クラスB消火薬剤の混合を想定した3%に対応していること。

第3 艀装

1 キャブの構造

- (1) キャブ上部は、軽量かつ十分な強度を有し、軽量性、耐久性、耐熱性に優れたオートクレーブ製法のCFRP（カーボンファイバー）製とすること。
- (2) キャブルーフ上は静止荷重300kg以上、動荷重150kg以上の耐荷重を有するアルミ縞板張りおとしこみデッキとし、許容荷重50kgの支点リングを8箇所設けること。
- (3) キャブ側面には組込み式のバー型形状のLED作業灯を装備し、足元や周囲を照射し夜間活動時の安全を確保できる構造にすること。
- (4) 赤色警光灯はキャブと一体埋込型とし、キャブ上部左右及び前方中央に設け、省電力、玉切れの少ないLED式とすること。なお、車両側方及び前方一帯を照射できる配置とすること。
- (5) 電子サイレン用アクティブ制御スピーカー及びモーターサイレンをキャブ上部前方中央部に埋め込み一体型にて設けること。
- (6) キャブルーフ上の支点リングには許容荷重の銘板を付すること。
- (7) フロントガラスメンテナンス用のグリップを適当な場所に設置すること。
- (8) フロントグリルの中央部に消防章を設置すること。
- (9) バンパー上部はアルミ縞板張りとし、ステップとして使用できるようにすること。
- (10) フロントサイドに、熱線ヒーター付きリモコンミラー及び助手席電動格納式サイドミラーを設置し、助手席側サイドミラーには補助ミラーを設置すること。
- (11) 視認しやすい位置に、ウインカーを設置すること。
- (12) 各ドアは、集中ドアロック（キーレスエントリー付）とし、ドア開放時に後方からの視認性を向上させるための反射テープ等を貼付すること。
- (13) キャブ右側後方に、車輪止2個の収納スペース（脱落防止付）を設けること。
(取付け位置別途協議)
- (14) 車両バッテリーは、キャブサイド下の防水性を有するボックス内に収納し、内部はスライド式で点検等が容易に行えるような構造にすること。
- (15) キャブ内の座席は、前向きとし、前席2人、後席4人掛け、定員6人とし手摺りを設け、乗車人員分のシートベルトを取付けること。また、全シートに厚手の超防汚シートカバーを取付けること。
- (16) キャブ後部座席上部に収納ネットを取付けること。
- (17) キャブ前部座席上部にルーフラックを設けること。(別途協議)

- (18) キャブ内後部にモーターサイレンスイッチ、拡声器マイクを設置すること。
- (19) 床面から天井までの高さは1, 800 mm以上確保し、起立状態で呼吸器の着脱ができるようにすること。
- (20) 助手席は、空気呼吸器取付け装置一体型シートとし、後部座席は背もたれ折り畳みシートとし全席にシートベルト及び面体掛け用のフックを設け、隊員が容易に装着でき着装したままでの着座に、支障のないスペースを確保した構造とすること。また、後部座席は、隊員が乗降し易いように座面は跳ね上げ式とすること。(別途協議)
- (21) 後部座席上部前後には、小型の資機材等が収納できる飛び出し防止付の棚を設け、着座及び立位時においても支障のない構造とすること。
- (22) 運転席と助手席の間にセンターコンソールボックスを設け、可動式の間仕切りを作成しファイルや小物類を縦に収納できる構造にすること。
- (23) 運転席と助手席の後部に手摺りを設け、地図や重要書類及び鍵等の収納箱を設けること。運転席後部にパンチング板を設置すること。(別途協議)
また、手摺り及びパンチング板に、S字フックを10個取付けること。
- (24) 使用容量600W程度のDC-ACインバーターを設置し、100Vコンセントを2口設置すること。
- (25) 携帯拡声器2個の取付け装置を設けること。(位置は別途協議)
- (26) キャブ内にデジタル時計を設けること。(位置は別途協議)
- (27) 各装置の電装品スイッチは、運転席中央付近のセンターコンソールボックスに取付けイグニッションスイッチ操作により通電及び照明灯が点灯する構造とし、操作が容易に行えるものとする。
- (28) 各装置電気機器スイッチ(10連スイッチ)・電子サイレンアンプ(音声合成)無線電話装置・モーターサイレン用スイッチを操作しやすい位置に取付けること。
また、モーターサイレン用スイッチは、助手席の足元に別途取付けること。
- (29) 電子サイレンのハンドマイクは、助手席付近の操作しやすい位置に設置すること。
また、マイクまたは別に設定したスイッチによりイエルプの使用を可能とすること。
- (30) 車体後部に保護枠付きのバックアイカメラを設置し、バックアイカメラ用のカラー液モニターは、ルームミラー一体型とすること。また、モニターは、シフトレバーをRレンジに入れたときだけでなく、任意に車両後部を確認できるように、専用のスイッチを設けること。
- (31) キャブ内にドライブレコーダーを設置すること。
- (32) 運転席付近にバッテリーメインスイッチを設けること。
- (33) キャブ内各乗降口上部付近にLED式照明灯を各1個設置すること。(計4個)キャブ内の内張りは、取付けられた機器の点検が行えるよう、取外し等ができる構造にすること。
- (34) 運転席周辺に、エンジン回転計・水温計・油温計・電圧計及びエンジン稼働計を設置すること。

- (35) キャブチルト装置は、確実にキャブを支えられる性能を有するもので、安全のための支え棒を備え付けること。
- (36) キャブ左右側面にキャブ一体のキャブバックパネルを垂直に立上げ加工し、シートライザーの純正位置より更に後方移動を可能とし、キャブ内後部座席スペースが広く取れるように足元のスペースは、560mm以上を確保すること。
- (37) キャブ室内後席天井に室内灯（角型LED灯）を設ける。スイッチは3段切替え式（ON・OFF・ドア連動）とすること。
- (38) キャブ内天井部には、点検が容易な内張りを施すこと。
- (39) キャブ内のすべてのスイッチ類には、操作が容易に行えるよう、銘板を付すること。
- (40) キャブ後席のステップは、アルミ縞板製2段ステップとし、踏み面はグレーチングメタルとすること。

2 車両の構造及び艤装

- (1) 艤装は、総合的な重量軽減を図り、車体重量バランスを考慮し製作すること。
- (2) 車体の重要な点検箇所および主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保し、必要箇所には点検口または点検扉を設けること。
- (3) 車体部の主要骨格部及び車体パネルは、軽量化の為、アルミを使用し、各ステップは縞鋼板とすること。また、ポンプ室天井、水槽上面および水槽後部の器具収納箱天井はアルミ縞鋼板とし、天井部には原液缶×4缶程度の大型床下収納を設けること。
- (4) ポンプ室側板は密閉式とし、点検手入れが容易に行える構造とすること。
- (5) 替口立を2個適当な位置に取付けること。
- (6) 車体に設けるポンプ室及び収納部分は、アルミ合金製バーシャッター扉式とし、扉は車体左右に各3枚、後面に1枚設けること。（オールシャッター式）
- (7) 車体左右側面各シャッター下部はアルミ製の下蝶番式扉とし、扉内側はアルミ縞板を張り、ステップとして兼用出来るものとする。（チェーンレスステップとし、かつ、ステップ上にて資機材を積み下ろしする際、隊員が扉やアーム形状のヒンジに引っ掛かる恐れが無い構造とする。）活動中の危険を防止するため扉の角は曲形状とし、各展開ステップ3辺にLEDランプを埋め込むこと。なお、チェーンレスステップはフルフラット構造とすること。なお、アルミ製下蝶番式扉はラッチ等が一切無いバネダンパー及びシャッターで留める二重構造のこと。
- (8) 各シャッターボックス内の照明灯はバーシャッターのシャッターレールに内蔵し、間接照明とすること。
- (9) 水槽後部にアルミ合金製バーシャッター扉式の器具収納箱を設けること。
- (10) 燃料タンクは、シャシフレームとポンプ室下部エプロンボックスとの間に設け、補給口はポンプ操作部の低い位置に設けること。
- (11) 牽引フック（バウシャックル）を車両前部バンパーに2箇所設けること。
- (12) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。

(13) 左右ポンプ室部側板に無線機BOXおよび防火衣用折り畳みフックを必要数設けること。

(14) 車体前後左右にシグナルコミュニケーター式LED補助警告灯(LPP-31-20)同等を設け、緊急走行中は車両のウインカーと連動し、周辺一般車両への注意を促すよう点滅すること。

なお、同等機能を有するものにあつては、各社オリジナル品 (別途協議)

ア 点滅パターンは以下の通りとする。

- (ア) 緊急走行モード (赤色警光灯に連動)
- (イ) 右折モード (車両ウインカーに連動)
- (ウ) 左折モード (車両ウインカーに連動)
- (エ) 交差点進入モード (コンソール等にスイッチを設ける)
- (オ) パトロールモード (コンソール等にスイッチを設ける)
- (カ) 現場活動モード (コンソール等にスイッチを設ける)
- (キ) 住宅走行モード (コンソール等にスイッチを設ける)
- (ク) 減光モード (コンソール等にスイッチを設ける)

イ 音声ガイダンスまたはブザーは以下の通りとする。

- (ア) 冷却水警報
- (イ) 真空タイム警報
- (ウ) 吸水圧力警報
- (エ) 低圧中継警報
- (オ) 高圧中継警報
- (カ) 水タンク低水位
- (キ) 薬液タンク低水位
- (ク) 原液ポンプエラー

(15) 車体左右側面各2箇所(MYSW-L1440H-W)同等、車体後面にLED作業灯(MYSW-L1160H-W)を設けること。(別途協議)

(16) 車体前部左右及び後部にサーチライトを各1個設けること。

(17) 車体後方に車体天井への昇降用の展開式アルミ昇降梯子を設けること。

なお、最上段付近に補助手摺を設けること。

(18) 車体上部に三連梯子及びかぎ付梯子及び動力昇降装置を取付けること。

なお、梯子の取付け方法は一人で容易に積み下ろしができる構造とすること

(19) 梯子積載装置に鳶口2本を取付けること。

(20) 車体下部に剣先スコップ収納部を取付けること。なお、大型回転展開パネルを設け、スプレッダーやカッター、ラムシリンダー等の救助資機材が機能的に収納できるように創意工夫を凝らすこと。

(21) 左右側面後部シャッターボックス内及び、後部シャッターボックスには必要に応じて棚を設け、装備品の積載又は取付けができるものとする。

(後部シャッターボックス内棚は可動式とする。)

- (22) 側板立上げ部、車体後部コーナー部、側面下部チェーンレスステップ部は軽量化、防錆、巻き込み防止、デザイン性を考慮して製作すること。
- (23) 車体後面シャッター内は、ホースカー収納室とし油圧昇降装置を設け、非常時は手動にて操作可能なこと。
また、ホースの交換を容易にするためにホースカーに予備ホースをシマダ折で8本以上収納できるインナーボックスを設けること。ホースカー上方には必要に応じて棚を設け、予備ポンプブラケット等を取付けること。(詳細は別途協議)
- (24) ポンプ操作部底面は、水はけを良くする為、アルミ縞板製棚面に傾斜を設けること。
- (25) キャブと車体との間には、上面への昇降用として、折畳ステップを設けること。
- (26) 左右ポンプ操作部には、角度調整機能付LED式照明灯を各1個設けること。
- (27) 車体左右側面後方にシャシスモール連動のLED車幅灯を設けること。
- (28) 車体左右側面下部にシャシスモール連動のLED路肩灯を設けること。
- (29) 車体天井に必要に応じてフックを設けること。
- (30) 車体天井にアルミ縞板製の収納ボックスを設けること。(別途協議)
- (31) バッテリー充電管理器を設け、充電用マグネットコンセントをカバー付きで取付けること。
- (32) 油圧式救助資機材及び陽圧式送排風機等をシャッターボックス内に体裁よく積載できること。必要に応じて引出装置等を設けること。
- (33) 車両後部に、後方車両等に業務内容等が分かるようプレートを固定する枠を取付けること。(プレートは、工具等を使用せずに差し替え可能で使用しないプレートを複数枚同一箇所に保管可能な構造のもの)
- (34) テールランプは流鏑馬テール(融雪ヒーター付き)とすること。
- (35) 電装品の配線はCAN通信技術を用いた配線の簡略化を行い、重量軽減を図ること。

第4 消防専用電話装置

消防専用電話装置の取付けは、消防専用電話装置取付け業者(以下「取付け業者」という。)が行うため無償にて支給された配線類及び附属品の設置及び消防専用電話装置が使用できる電源を設け、下記に示す内容が容易に履行できるよう車両の製作を行うこと。

(詳細は別途協議)

1 車載型移動局無線装置

消防組合が指定する車載型移動局無線装置

2 配線類等は、すべて取付け業者から支給された新品を使用すること。

3 附属品

- (1) 空中線(ダイバーシティを含む。) 1式(デジタル)
- (2) 空中線共用器又は空中線切替器 1式(デジタル)
- (3) 送受信機(ハンドマイク、取付け金具付) 1式(設置場所協議)

- (4) スピーカー 運転室 1 個、後部室 1 個 1 式 (設置場所協議)
- (5) 接続ケーブル 1 式 (デジタル)
- (6) 以上記載のないもので取付けに必要な部品等は、当消防組合に問合せることなく受注者と取付け業者で協議し取付け業者の負担により用意すること。

また、無償にて支給された配線類等の設置費用については、受注者から取付け業者に請求するものとする。

- 4 無線機スピーカーは、サイレン吹鳴中であっても運転室や後部室で容易に音声が聞き取れる場所及び音量となるように取付け、切替えスイッチを取付けること。

5 無線障害等の措置

- (1) 車体構造がFRP製にあつては、電波障害対策を十分に行うこと。
(アンテナの形状及び設置位置等は別途協議)
- (2) 無線障害(雑音)防止のため、ボデーとドア、ラジエーター、エンジン周り、オルタネーター、ミッション、排気管、サスペンション等の要所にアースボンディング等を行うこと。
- (3) 無線用機器類の設置により他の装置及び車両の保守点検に支障が生じないものであること。
- (4) 事故防止のため、電源ケーブルのバッテリー側にはヒューズ等の安全措置または、ヒューズブルリンクを設置すること。

第5 車両動態位置管理装置

車両動態位置管理装置の取付けは、車両動態位置管理装置取付け業者(以下「取付け業者」という。)が行うため取付け業者から無償にて支給された配線類及び附属品の設置及び車両動態位置管理装置が使用できる電源を設け、下記に示す内容が容易に履行できるよう車両の製作を行うこと。(詳細は別途協議)

- 1 車両動態位置管理装置は、車両端末装置(NEC-Ⅲ型)を取付けること。
- 2 配線類等は、すべて取付け業者から支給された新品を使用すること。
- 3 附属品

モニタユニット、メンテナンスユニット、車両インターフェイスユニット、車両インターフェイス用電池パック、機器間接続ケーブル各種、アンテナ各種以上記載のないもので取付けに必要な部品等は、当消防組合に問合せることなく受注者と取付け業者で協議し取付け業者の負担により用意する。

また、支給された配線類等の設置費用については、受注者から取付け業者に請求するものとする。

第6 塗装および記入文字等

- 1 塗装要領は、次による。
 - (1) 車体は、特殊化学液にて錆落とし等の下地処理を行い、赤色ウレタン塗料にて3回以上の吹付を行い熱風乾燥炉にて乾燥させる。塗料は、VOC(揮発性有機溶剤)削減・環境負

荷物質（鉛など）を一切含んでいない等の環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。

- (2) アルミ縞板・ステンレス製品及びアルミタイヤホイールは塗装しないこと。
- (3) 各ボックス内の塗料については、上記(1)と同様の下地処理を行い下記のとおりとする。
 - ア 収納室内及び各ボックス内は、明るい色で塗色すること。
 - イ 車体下部は、黒色とすること。
 - ウ その他については、法定塗色を原則とすること。
- (4) 配管については耐久性を考慮しカチオン電着塗装を施すこと。

2 記入文字

- (1) キャビン両側面に、白文字で「佐倉市八街市酒々井町消防組合」と向かって左から右へ再帰性に富んだ反射材を使用し貼付けること。（詳細は別途協議）
- (2) キャビン前方及び左右に「酒々井」と再帰性に富んだ反射材を使用し貼付けること。（詳細は別途協議）
- (3) 車両後方に、白文字で「酒々井」と貼付けること。（詳細は別途協議）
- (4) キャビン前方ドアにデザイン画を記入すること。（デザイン画位置・サイズは別途協議）
- (5) 標識灯に「酒々井消防署」と記入すること。
- (6) 文字は丸ゴシックとすること。
- (7) 上記(1)から(5)の文字の大きさは、別途協議すること。
- (8) 対空表示をキャビンまたは収納室ルーフ上のアルミ縞板大型ボックスに表示すること。（表示位置・文字サイズは別途協議）文字は黒色とし、フォントは丸ゴシックとする。
- (9) その他、消防組合の指示により予備のステッカーを附属すること。（枚数は別途協議）

第7 補則

- 1 本仕様書に定めのない事項においても、製作上当然必要と思われるもの、あるいは受注者が公表している標準仕様については、それを施工するものとする。

また、シャシメーカー及び装備品等メーカーの標準仕様についても同様とする。
- 2 本仕様書の解釈について、消防組合に確認せずに施工したものについては全て無効とし、再度製作すること。

また、設計並びに製作中に疑義が生じた場合には、その都度消防組合と協議すること。
- 3 装備品及び積載品は、その機能を全て使用することができる附属品を付けて納入すること。
- 4 保証書・説明書等の資料は、一括保管できるファイル等により2部提出すること。
- 5 車両の新規登録の諸手続きについては、受注者に委任する。

登録諸費用：登録に関する一切の経費については受注者が負担する。ただし、自動車重量税および自動車損害賠償責任保険料、リサイクル料は、消防組合が負担する。
- 6 製作・設計に当たり、権利上又はその他の問題が生じたときは、受注者の責任において、その責任を負うものとする。

- 7 本車両の納入に当たり、車両（積載品等含む）の取扱説明を消防組合の指定する場所及び期間に行うものとし、これに必要な経費（資料等を含む）は、受注者の負担とする。
- 8 保証期間は、完成車の納入日から1年間とする。ただし、保証期間後といえども、設計不良、工作不良に起因する不都合等が生じた場合には無償で交換、部品の取り替え、又は、

内 訳

No.	品 名	数量	規 格
1	消防専用シャシ	1 式	4輪駆動MT GVW12t未満
2	車体艀装	1 式	I-B型 標準艀装 (キャビンハイルーフ)
3	取付品及び取付装置(1)	1 式	
4	取付品及び取付装置(2) 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置	1 式	
5	附属品(1) 備えなければならない附属品	1 式	
6	附属品(2) 軽微な変更として備えることができる附属品	1 式	
7	補助加算項目	1 式	
8	艀装取付及び附属品	1 式	

1 消防専用シャシ

No.	品 名	数量	規 格
1	消防専用シャシ	1 式	4輪駆動MT GVW12t未満

2 車体艀装

No.	品 名	数量	規 格
1	車体艀装	1 式	I-B型 標準艀装 (キャビンハイルーフ) PP製水槽1500L

3 取付品及び取付装置(1)

No.	品 名	数量	規 格
1	ポンプ圧力計	2	
2	ポンプ連成計	2	
3	エンジン回転計	1 式	
4	エンジン油温計	1 式	

5	赤色警光灯	1 式	LED式 MRA-300 アクティブ制御スピーカー内蔵
6	電子サイレン	1 式	大阪サイレン TSK-D152Y (Mark-D1) 専用マイク2 (前席1、後席1) 広報メッセージ (別途協議)
7	照明灯 (前)	2 式	LED式MYS-75LP 1m手動伸縮柱付
8	照明灯 (後)	1 式	LED式MYS-75LP
9	後退警報器	1 式	音声合成機能付き
10	標識灯	1 式	グローブ黄色

4 取付品及び取付装置 (2)

軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No.	品名	数量	規格
1	GPSナビゲーションシステム	1 式	オーディオ一体型ナビ(2DIN)または同等品
2	電動サイレン	1 式	ハイルーフ部に内蔵 大阪サイレン5SA型
3	真空計	1 式	液晶モニター内に表示
4	ポンプ回転計	1 式	液晶モニター内に表示
5	流量計	4 式	液晶モニター内に表示 各吐水口
6	積算流量計	4 式	液晶モニター内に表示
7	キャブチルト装置	1 式	シャシ固有のもの (電動油圧式)
8	オイルパンヒーター	1 式	シャシ固有のもの
9	不凍液注入装置	1 式	カプラー式
10	スタッドレスタイヤ	6 式	アルミホイール付
11	作業灯	7 式	ルーフ左右各1個MYSW-L-W 側面左右各2個 MYSW-L-W 後面(数量別途協議) MYSW-L-W
12	車外無線送話機取出口	2 式	両側面
13	反射材	1 式	再帰性に富んだ反射材

5 附属品 (1) 備えなければならない附属品

No.	品名	数量	規格
1	吸 管	2 式	大阪ゴム社製 呼称75mm×10m LF-RS
2	吸口ストレーナー	2 式	ポリ製

3	吸管ストレーナー	2 式	65mm町野式差込オス金具媒介及びヒッパラー媒介付き
4	吸管ちりよけかご	2 式	ポリ製
5	吸管まくら木	2 式	ゴム製
6	吸管ロープ	2 式	径10mm×15m
7	消火栓金具	1 式	呼称75mmメスネジ×呼称65mm差込メス
8	中継用媒介金具	2 式	呼称65mmメスネジ×呼称65mm差込メス ブルーリング
9	消火栓開閉金具	1 式	トミス式、オオバコ回し、T字開閉、 防火水槽蓋開閉金具（1組）
10	吸管スパナ	2 式	左右各1個
11	管そう	2 式	YONE製無反動管そうa（ノズル含む）
12	ノズル	2 式	YONE製クアドラノズルNH-50QF×2 ストレートノズル×2含む
13	放口媒介金具	4 式	マルチコネクター（MC）
14	とび口	2 式	1.5m～1.8m
15	金てこ	1 式	載せ替え
16	剣先スコップ	1 式	載せ替え
17	三連梯子	1 式	チタン3連 KHFL-CT87
18	車輪止	2 式	ゴム製
19	消火器	1 式	自動車用（ABC粉末6kg型）
20	ポンプ工具	1 式	冷却水ストレーナキャップ用1丁
21	65mmホース	30 本	65mm×20m、1.6MPa、軽量差込金具、リング締め（軽量樹脂引きホースSP-aya-A）袴付近4箇所へ文字記入 色及び文字は別途協議

6 附属品（2）軽微な変更として備えることができる附属品

No.	品名	数量	規格
1	タイヤチェーン	1 式	軽量ケーブルチェーン(シングルチェーン)
2	二又分岐管	1 式	MC分岐ボールバルブ
3	ホースブリッジ	1 式	ゴム製 CB450
4	ワイヤー	1 式	載せ替え

5	照明器具	1 式	(1) 移動用照明灯 カネコ製 信号機付投光器 (LED式) KS9302A (特殊蓄光ケーブル50mコードリール付) (2) 専用三脚 (3) 発動発電機 ホンダEu18iまたは同等品
6	おの	1 式	アックス (RIGHT RESCUE)
7	掛矢	1 式	グラスファイバー柄
8	スタンドパイプ	1 式	PS-65 軽量65mm×700mm以上
9	特殊ノズル	2 式	エコファイターノズル
10	特殊ノズル用ホース	4 式	50mm×20m、1.6MPa、軽量差込金具、リング締め (軽量樹脂引きホースSP-aya-A) 袴付近4箇所へ文字記入 色及び文字は別途協議

7 補助加算項目

No.	品名	数量	規格
1	電動梯子昇降装置	1 式	佐藤工業所 S S A - II
2	空気呼吸器 (ボンベ付)	4 式	ライフゼム A1-12 ALT-1082 J 付 保護カバー、圧力ゲージ付き (150度バルブ)
3	予備ボンベ	4 式	ALT-1082 J 保護カバー 圧力ゲージ付き (150度バルブ)
4	空気呼吸器取付装置	3 式	幅広マジックテープ式
		1 式	レスキューシート (助手席1)
5	ホースカー昇降装置	1 式	電動油圧式動力昇降装置
6	ホース延長用資機材	1 式	動力付き加納式ホースカー (ブレーキ付)
7	圧縮空気泡消火装置	1 式	国産 最大泡吐出量5400ℓ/分以上

8 艀装取付及び附属品

No.	品名	数量	規格
1	赤色点滅灯 (LED)	1 式	前部:2個 フロントバンパー側面左右2個 後部:2個 側面:左右各3個 (別途協議)
2	エアコン装置	1 式	後部吹き出し口含む
3	マップランプ (LED)	1 式	助手席側
4	ポンプ室内灯 (LED)	1 式	
5	ボックス灯 (LED)	1 式	

6	室内灯	1 式	LED 埋め込み式蛍光灯
7	運転席エアバック	1 式	
8	消防章	1 式	取付方法別途協議
9	10連スイッチ	1 式	大阪サイレン製 SBW-D 1
10	センターコンソールボックス	1 式	塗装色別途協議
11	地図入れボックス	1 式	A3
12	S字フック	10 式	ビニール巻き
13	スノコ	必要数	樹脂製 タートルスノコ
14	安全機能付ポンプ操作装置	2 式	7インチ 自動調光モニター (IP65相当)
15	後部面体かけフック	3 式	
16	路肩灯	1 式	LED
17	自動調圧機能	1 式	モニター内蔵 (0.4Mpa~1.0Mpa)
18	拡声器	1 器	ノボルTS-633Rホルダー付きまたは同等品
19	携帯用ライト	4 式	ポリステインガーLED標準セット
20	媒介金具	6 式	同径 65mmメス×メス1個 65mmオス×オス1個 異径 65mmメス×50mmオス2個 65mmメス×40mmオス1個 50mmメス×40mmオス1個 載せ替え
21	大ハンマー	1 式	グラスファイバー柄
22	手旗	2 式	赤白 (各1本)
23	防水シート	5 式	載せ替え
24	鉄線カッター	1 式	載せ替え
25	ホースバンド	10 式	ホースバンデージHB-100
26	車両停止表示版	1 式	三角停止板
27	エンジンカッター	1 式	STIHL製 TS420-14B
28	チェーンソー	1 式	STIHL製 MS261C-M ガイダー約45cm
29	携行缶	2 式	50
30	セーフティーコーン	5 式	LEDジャバラコーン (ウエイト付) 別途協議
31	かぎ付梯子	1 式	チタン製かぎ付梯子 関東梯子KHFL-TOT31

32	eノズルフォルダー	2 式	Y O N E 製ガンタイプノズル型 (型式: PEH-50A) ×2
33	デイルイト	1 式	
34	可燃性ガス検知器	1 式	GX8000 TYPE-A
35	差込型表示板	5 枚	差込型表示板 (5種類文字、別途協議)
36	側板立ち上げ	1 式	足元灯内蔵
37	収納ボックス	1 式	天井に2個程度 (別途協議)
38	消火栓金具	1 式	Y O N E 製
39	ドライブレコーダー	1 式	WITNESS IV-S II SDカード32G 2枚 (別途協議)
40	車両状態警告モニター	1 式	アドバンスモニタ AM-003 (バックアイカメラ含む)
41	簡易救急セット	1 式	<ul style="list-style-type: none"> ・バックマスク(レールダル・シリコンレサシテータ成人用・小児用・新生児用各1) ・デマンド(LPS減圧弁 スミスメディカル) ・トーマスバック(スミスメディカル) ・ファーノ モデル5122 ・血中酸素飽和度測定器(B0-750) ・布担架(ターポリン担架・足袋付) ・オキシゲンキャリーバッグ(WOB-1)バックマスク・デマンド・トートバック・血中酸素飽和度測定器・布担架等
42	現場記録用デジタルカメラ	1 式	リコー 現場用デジタルカメラ G900 (リチャージابلバッテリー (DB-65) ×1、ACアダプター (AC-5c オプション)、単四形アルカリ乾電池×2、単四形ニッケル水素電池×2)、SDカード (16G)、カメラケース・ワイドコンバージョンレンズ
43	熱画像直視装置	1 式	FLIR K2
44	車両動態位置管理装置取付 (NEC-Ⅲ型) (別契約)	1 式	(別契約)
45	消防専用電話装置取付 (別契約)	1 式	(別契約)
46	クラスA消火薬剤	5 式	マルチA
47	トレーニングフォーム	3 式	C A F S トレーニングフォーム
48	工具セット	1 式	車両積載用 K T C SK3560WZ
49	ハリガンツール	1 式	RightRescue ハリガンアックス
50	巻尺	1 式	HSP-50 (タジマ)
51	現場見取図板	1 式	オーストリッチ製 ラフ136型

52	耐刃ベスト	5 式	載せ替え
53	ベストスリング	1 式	AZ 1030-1 型
54	コードリール	2 式	30M ハタヤSS-30B2
55	L E D矢印板	1 式	電池式 ジェイウインJLE-10
56	救助ブロック	1 個	スタブパックセット
57	エアバックプロテクション	1 個	ウェーバー 運転席2サイズ
58	ラムシリンダー	1 式	ウェーバー RZT2-1360 SMART-FORCE2
		1 式	シルサポート
		1 組	ベースサポートバック・フロント
		2 個	バッテリー
59	カッター	1 式	ウェーバー RSC190PLUS SMART-FORCE
		2 個	バッテリー
		2 個	専用充電器
		1 個	バッテリーポーチ
		1 個	ポーチベルト
60	スプレッダー	1 式	ウェーバー SP50BS SMART-FORCE
		2 個	バッテリー
		1 個	専用充電器
		1 個	パワーサプライケーブル
61	空気式ジャッキマット	1 式	ハンド型コントローラ
		1 個	リデューサ
		6 本	インフレーションホース 赤7.5m×2 青7.5m×2 黄7.5m×2
		3 個	シャットオフバルブ
		2 式	連結バンド (4個セット)
		2 個	フラットバッグ FB11/17
		2 個	フラットバッグ FB18/18
		2 枚	保護マット350 x 350
		1 枚	保護マット500 x 500
		1 式	クリピング100セット
62	ホースバック	2 個	50/65mmホースバッグ ダブル (RS-W-02)
63	レシプロソー	1 個	載せ替え

64	マルチスリング	1 個	F E 3.2 X X (同等品)
65	チルホール	1 個	TU-16 専用ワイヤーロープ付
66	クレーン救出用金具	1 式	T R C-0 2
67	都市型救助資機材	2 個	アストロ ボッドファスト 国際バージョン
68		2 個	アサップロック
69		2 個	アサップソーパーアクセス
70		2 個	アブソビカY MGO 国際バージョン
71		1 本	P e t z l ダイナマイト11mm (ダイナミックロープ) 50m
72		6 個	ヴェルティゴツイストロック
73		20 個	オーケートライアクトロック (カラビナ)
74		2 個	スピンL 2
75		4 個	スピンL 1
76		2 個	マエストロ s
77		2 個	アイディ s
78		2 個	AZTEK (Rock exotica)
79		2 個	レスキューセクター
80		2 個	ポーL
81		6 個	アクシス (ロープ) 100m
82		6 個	ポルタージュ
83		2 個	ダッフル65
84		1 式	アノー (60cm 80cm 120cm 150cm) 各4本
85		2 個	ローラーコースター
86		4 個	NR ロープパッド
87	1 個	バスケット担架 ファーノモデル71-S	